

新年のごあいさつ

山梨県民信用組合

理事長 廣瀬 正文

明けましておめでとうございます。

平素より私ども山梨県民信用組合に対しまして、格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、山梨県の社会経済状況を見てもみますと、高齢化は全国平均を上回るスピードで進行しており、少子高齢化・人口減少が進む中、経済の停滞が続いております。

東京一極集中という現実が依然として続いており、景気回復の効果が地方まで充分に行きわたっておらず、地方はそれを実感できないままではないか。昨年10月に「しんくみの集い」事業として開催した山梨県民信用組合経済セミナーにおいて、講師の須田慎一郎氏も、こうした点を解説されておられました。

こうした中、地域の産業界、大学、行政、金融機関及び労働界の「産・学・官・金・労」が緊密に連携して、地域経済の活性化を図っているという取り組みが進められています。この着実な推進による成果の実現に期待を寄せるとともに、私どもに対する皆様の期待の大きさを痛感しております。

私達、信用組合は、お互いが助け合い、共に成長していくという「相互扶助の精神」のもと設立された、地域に根差した金融機関であり、組合員の皆様からの出資金によって設立された協同組織の金融機関であり、地域と地域の皆様と共に発展していくことを本旨としております。こうした厳しいときこそ、私どもの経営理念である「相互扶助の精神」が、地域の皆様方のお役に立てるときであると考えております。皆様からの期待に応えるべく、地域の経済・産業の発展を支える地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

また、昨年5月には、皆様からのご協力により、「けんみん信組経営者クラブ」を設立いたしました。このクラブでは、(株)タナベ経営様のご協力のもと、定期的に経営塾を開催し、会員企業の皆様の経営力強化に向けた研修の実施や、異業種交流をねらいとする交流会などを開催しております。この経営塾の内容充実に本年も取り組んでまいります。

併せて、高齢者の地域見守りネットワーク活動や、認知症サポート事業所としての取り組み、献血運動への更なる協力などを通じまして、地域に貢献する信用組合としての役割をなお一層果たしてまいりますとともに、年金友の会総会でのアトラクションや年金旅行、「しんくみの集い」のセミナーなどの内容の一層の充実にも取り組み、皆様に喜ばれる催しを企画してまいります。

本年も、山梨県民信用組合は、お客様への感謝と地域への貢献をコンセプトとし、役員一同が一丸となってお客様へのサービスの向上と地域貢献活動の充実に努めてまいりますので、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

